



週報 Rotary



所沢西ロータリークラブ

RI 第2570地区第3グループ

会長 内田 学 ・ 会長エレクト 山崎 武邦
 幹事 鈴木 伴忠
 クラブ管理運営委員長 萩野 陽一

例会場 〒359-1127 所沢市星の宮1-3-5 ヘルヴィザ グラン TEL 04-2923-4122
 事務局 〒359-1143 所沢市宮本町2-22-25 角田ビル3F TEL 04-2926-1666
 例会日 毎週火曜日 (PM12:30~13:30) FAX 04-2926-5151
 E-mail nishiro@dream.ocn.ne.jp <http://www.tokorozawa-nishiro.net/>

四つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

1. 点鐘…会長 2. 斉唱…ロータリーソング 3. 来賓紹介 4. 会長、幹事報告 5. 委員会報告

第 1415 回例会 2015・10・27

| 卓 話 | 例会当番 | 記念祝福 |
|------------------------------|-------|------|
| 10/27 「市長選を終えて、市議会は・・・」中 毅志様 | 高橋 和男 | |
| 11/3 法定休日 | | |
| 11/10 元西武ライオンズ選手 片平 晋作様 | 中 毅志 | |

| ■出席報告 | |
|-------|-------|
| 月 日 | 10/20 |
| 会員数 | 33 |
| 出席者 | 29 |
| 出席率 | 87.8% |
| 前回修正 | 87.8% |

会長の時間 内田 学

皆様今日は。市長選も無事終了してほっとしてロータリー活動にもどれる方々お帰りなさい。

本日は、以前話した出汁について話したいと思います。和食では、鰹出汁、昆布出汁が多く使われます。鰹節には、花鰹、厚削り、混合削り、雑節出汁には、宗田節、むろ節、鯖節、鰯節 昆布出汁は、日高、利尻、羅臼、真昆布等があり、他に、あらめ、ワカメ、いわのり等があります。基本的な出汁の取り方は、水に昆布を入れ、中火で、沸騰前に、昆布を出し、沸騰する手前で花鰹を入れ、火をとめます。

これが1番だしです。お吸い物に使われます。出汁を取った昆布と、鰹を水から火にかけて、2番出汁を取ります。出汁を取る量ですが、私の知っているのは多すぎるので、インターネットで調べました。御家庭用ですと、水 1Lに、昆布 5-10g、花鰹 20-30g と Cook pad に乗っていました。

幹事報告 鈴木 伴忠

◆「ロータリーデークラブ名入り幟」「エントポリア ポスター」が届きました。

- ◆第一ゾーン理事指名委員会による選出について・・・鶴岡西ロータリークラブ 会員 石黒 慶一様
- ◆再送 第 40 期日豪青年相互訪問募集案内
- ◆ハラハよねやま 187 号
- ◆井埜ガバナエレクト様より地区人事のお願い
- ◆2016~2017 年地区ガバナエ補佐・会長エレクト連絡会議のご案内・・・12月5日(日) 12:30~
- ◆世界キャラバン受入のお願い・・・2/2(火)で申込中
- ◆週報・・・新所沢 RC

ニコニコボックス 石井 秀夫

米山記念奨学部門委員長 忽滑谷 明様

米山月間にあたり、卓話の機会をいただき有難うございます。本日は宜しくお願ひ致します。

内田 学 忽滑谷様 本日は宜しくお願ひ致します。藤本市長様 当選おめでとうございませう。

鈴木 伴忠 忽滑谷様 本日の卓話宜しくお願ひ致します。

本橋 正夫 米山委員長 忽滑谷様本日は有難うございませう。

ございます。会員の皆様 大変有難うございました。無事勝利しました。

室伏 秀樹 前回欠席。藤本市長 当選おめでとうございます。

中村 茂 前回欠席。

小暮 博文 欠席が続き、すみません。

石井 秀夫 前回欠席。忽滑谷様本日は宜しくお願
い致します。藤本市長当選おめでとう
ございます。

師岡 友次 前回欠席しました。申し訳ありません。

荻野 賢司 体調が悪いので早退させていただきます。

卓話 「米山月間にちなんで」
米山記念奨学部門委員長 忽滑谷 明様



本日は、米山月間にあたり卓話の機会をいただき誠にありがとうございます。皆様には、日頃米山記念奨学事業に対しましてご理解ご協力をいただいております事にまず持って御礼申し上げます

ロータリー米山記念奨学事業の最大の特長は、経済的な支援だけでなく、「世話クラブ・カウンセラー制度」を設けて、奨学生の精神面のケアを図っていることです。奨学生には、地区から1つのロータリークラブが世話クラブとして選ばれ、さらに世話クラブの会員の中から、専任のカウンセラーが一人付いて、奨学生の日常の相談相手になり、奨学生の日本での生活が心豊かなものになるよう配慮します。

奨学生には毎月1回世話クラブの例会に出席することが義務づけられており、奨学金も会長から直接手渡されます。そのほかにも、奨学生には、ロータリークラブの例会で母国の事や自分の研究について卓話をしたり、クラブや地区の社会奉仕活動、交流会や研修旅行に参加したりと、ロータリーの活

動を通じて、日本文化や地域社会と触れ合う様々な機会が提供されます。「通常の留學生活では知り得ない日本社会を体験できた」「ロータリーの奉仕の心に触れて人間的に成長できた」と、奨学生にはかけがえのない経験になると同時に、支援するロータリアンにとっても、米山記念奨学事業の意義を実感し、理解を深める機会となっております。

各地区での奨学生の受け入れ人数は、前年度のその地区の留學生数、個人の平均寄付額、地区の寄付総額によって決められます。この寄付額を重視した算出方法は、寄付意欲が強く、奨学生をより多く採用したいと望む地区の要望に応えられるよう採用されております。

当地区では現在18名の奨学生を受け入れておりますが、次年度は16名の採用枠となりました。地区米山記念奨学委員会では25～6名の採用を目標として、2～3年毎交代で全52クラブで奨学生を受け入れたいと望んでおります。

寄付金には、普通寄付金（日本の全ロータリークラブ会員からの定期寄付金。定款に基づき、クラブで決定した金額の会員数分が半期に一度、クラブを通じて納入されるもの）と特別寄付金（個人、法人またはロータリークラブから普通寄付金以外に任意で寄付されるもので、額も時期も問わない）の2種類の寄付金がございますが、地区の寄付総額、個人の平均寄付額を何とか前年より増額いたしたく、普通寄付金に加えて、特に特別寄付金のご協力を宜しくお願い申し上げます。

~~~~~

**\*吉安扶輪社社長 蔡志明様より mail を戴きました。**

今回の台風はお陰様で大災害にはなりませんでしたが、皆様にご心配をお掛け致しまして有難うございました。皆様の義捐金につきまして、銀行の口座等受入れが出来ませんでした。つきまして12月6日はロータリークラブ35周年の式典を行いますが、出来ましたら式典に御出席頂きたいと思っております。来台時に義捐金を頂ければ有り難いと思っております。皆様の温かい気持ち本当に感謝致しております。皆様の健康と益々の繁栄をお祈り申し上げます。

今週の担当 中 毅志